

ジョブローテーション、乗務員勤務制度改悪、ダイ改合理化、ローカル線切り捨て反対！ 定年延長と65歳まで働ける職場を！

# 11/27 JR千葉支社 久留里線久留里～上総亀山廃線発表



## 地域切り捨て許さない!

11月27日、JR千葉支社は久留里線・久留里～上総亀山間の廃線方針を発表しました。時期は未定ですが、土沢支社長は「できるだけ早く」と語っています。「廃線ありき」の地域切り捨ては許せません。

### 地元から怒りの声

地元からは「許せない気持ち」「(廃線を前提にしないという) 今まで言ってきたことと違う」「利用しづらい運行本数のまま、利用者は増えないと決め付けるのは許せない」と、ただちに怒りの声があがっています。

千葉支社は廃線方針について、「久留里線に関する検討会議の結果を受けて検討した」

### 「いきなり廃線」怒る沿線

利用客が低止まりとなり、久留里線(久留里～上総亀山)は、沿線住民から「いきなり廃線」の怒りを受けている。JR千葉支社は、沿線住民の怒りに対して「いきなり廃線」の発表は、沿線住民の怒りを招いた。沿線住民は「いきなり廃線」の発表に怒りを覚えている。沿線住民は「いきなり廃線」の発表に怒りを覚えている。沿線住民は「いきなり廃線」の発表に怒りを覚えている。

### 議論は君津市に「住民の声聞いて」



「JR久留里線(君津市、全線2.4km)は、沿線住民の怒りに対して「いきなり廃線」の発表は、沿線住民の怒りを招いた。沿線住民は「いきなり廃線」の発表に怒りを覚えている。沿線住民は「いきなり廃線」の発表に怒りを覚えている。沿線住民は「いきなり廃線」の発表に怒りを覚えている。

### 久留里線 JR東は「モードチェンジ」

「JR久留里線(君津市、全線2.4km)は、沿線住民の怒りに対して「いきなり廃線」の発表は、沿線住民の怒りを招いた。沿線住民は「いきなり廃線」の発表に怒りを覚えている。沿線住民は「いきなり廃線」の発表に怒りを覚えている。沿線住民は「いきなり廃線」の発表に怒りを覚えている。



### 「持続可能性に問題」のウソ

報告書には、「持続可能性に問題」等と書かれています。しかし、JR東の運輸部門は1707億円の黒字(23年度)です。千葉支社は「バス等の交通体系へのモードチェンジが必要」としていますが、バス転換の方が、「持続可能性に問題がある」のが現実です。

ローカル線が廃線された後にバス転換された例はありますが、結局赤字に地元自治体が耐えられずに数年で廃止になっています。昨年頃からは都心部でもドライバー確保が難しくなり、例えば千葉市の団地と駅を結ぶバスは1日10本から1本にされています。

この中で「バスへ転換」とは、「地域を切り捨てる」と言うに等しいものです。

### 国鉄分割・民営化の失敗

そもそも鉄道が「赤字」なのは当然で、世界的にも黒字の方が「例外」です。問題の根本は、国鉄分割・民営化で鉄道を金儲けの道具にして、「収益」「株主利益」をすべてに優先させたことです。

分割・民営化の失敗の矛盾を、JRは国と結託して地元ですべて押し付けようとしています。それは現場で融合化等を進め、現場に矛盾を押し付ける姿と同じです。地域の仲間とともに、廃線化反対の声をあげよう。